

問1 日露戦争の終結から日中戦争が始まるまでの期間に作成された年表において、1918年（大正7年）ごろに位置づけられる日本の軍事行動はどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

1. シベリア出兵 2. 義和団事件への出兵 3. 東学党の乱への対応 4. 真珠湾攻撃

問2 第一次世界大戦後のドイツで1919年に制定されたワイマール憲法について、その後の世界の憲法に大きな影響を与えた最大の特徴は何ですか。最も適切な説明を選んでください。（2023年 奈良公立入試 類似）

1. 国民が人間らしい生活を送るための権利である「社会権（生存権）」を世界で初めて規定した。 2. 国家の主権は皇帝にあると定め、国民の権利を法律の範囲内という制限付きで認めた。 3. 私有財産の絶対不可侵を第一とし、国家が経済活動に介入することを厳しく禁じた。 4. 成人男性のみに参政権を認め、労働者の権利については一切の記述を排除した。

問3 1914年から1925年にかけての日本の国家予算に関する統計資料によると、1919年のパリ講和会議以降、歳出総額に占める軍事費の割合が一時的に減少しています。この変化の背景にある、当時の国際的な動向として最も適切なものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）

1. ワシントン会議などの開催を通じて、軍縮を進めて平和を維持しようとする国際協調の動きが強まったため 2. 第一次世界大戦の戦勝国となったことで安全保障上の脅威が消滅し、自主的に軍隊を解散させたため 3. 大戦景気による経済成長によって歳出総額が膨大になり、相対的に軍事費の金額が過去最小になったため 4. 世界恐慌の影響で深刻な財政難に陥り、軍事費を含むすべての政府支出を大幅に削減せざるを得なかったため

問4 1925年、日本では25歳以上のすべての男子に選挙権を与える普通選挙法が制定されました。しかし、これと同時に、私有財産の否定や社会体制の変革を目指す思想が広まり、労働運動や農民運動が激化することを恐れた政府は、ある法律を制定して取り締まりを強化しました。この法律を何といいますか。（2020年 鳥根公立入試 類似）

1. 治安維持法 2. 治安警察法 3. 国家総動員法 4. 破壊活動防止法

問5 日本が中国の袁世凱政府に対し、旅順・大連の租借期限の延長や、山東省におけるドイツの権益継承などを求めた「二十一カ条の要求」の主な目的として正しいものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 中国における日本の勢力を拡大すること 2. ヨーロッパ諸国の戦費を補うための経済支援を行うこと 3. 中国の民主化を支援し、欧米列強の支配を排除すること 4. ドイツと協力して、ロシアの南下政策を阻止すること

問6 1918年、政府がシベリア出兵を決定したことを背景に、商人たちが将来の需要増加を見越して米を買い占めたため、米の価格が急騰しました。これに反発した富山県の漁村の女性たちの行動から始まり、全国的な暴動へと発展した出来事を何といいますか。（2022年 岐阜県公立入試 類似）

1. 治安維持法の制定 2. 足尾銅山鉍毒事件 3. 米騒動 4. 秩父事件

問7 1918年、シベリア出兵を見越した米の買い占めなどによる価格高騰に対し、富山県の女性たちが米の安売りを求めて起こした行動が全国に波及しました。この出来事をきっかけに当時の内閣が退陣した後、衆議院の第一党であった立憲政友会の総裁として首相に任命され、「平民宰相」と呼ばれた人物は誰ですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 原敬 2. 板垣退助 3. 犬養毅 4. 伊藤博文

問8 第一次世界大戦が始まった1914年から終結する1918年にかけて、日本の経済状況は大きく変化しました。この時期の貿易額の推移において、1913年時点と1916年時点の状態を比較して説明したものととして正しいものはどれですか。（2017年 秋田県公立入試 類似）

1. 1913年には輸入額が輸出額を上回る輸入超過であったが、1916年には輸出額が10億円を超えて輸入額を上回るようになった。 2. 1913年には輸出額が輸入額を上回る輸出超過であったが、1916年には戦争の影響による原料高騰で輸入額が輸出額を逆転した。 3. 1913年も1916年も一貫して輸入額が輸出額を上回っており、国内の産業化が遅れていることを示していた。 4. 1913年も1916年も輸出額が10億円を大きく下回っており、日本が本格的に国際貿易に参入したのは大戦終結後であった。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 シベリア出兵	1905年の日露戦争終結後から1937年の日中戦争開始までの期間、大正時代の外交において重要な軍事行動がシベリア出兵です。1917年のロシア革命を受けて、翌1918年から日本を含む列強が軍を送り込みました。義和団事件（1900年）や東学党の乱（1894年）は日露戦争より前の出来事であり、真珠湾攻撃（1941年）は日中戦争開始より後の出来事です。
問2	答え 1 国民が人間らしい生活を送るための権利である「社会権（生存権）」を世界で初めて規定した。	第一次世界大戦に敗れたドイツでは、ドイツ革命を経て共和制へと移行しました。1919年にワイマール（ヴァイマル）で制定されたこの憲法は、主権在民や男女普通選挙を認めただけでなく、労働者の権利や生活の保障を国が責任を持つという「社会権」の考え方を世界で初めて明文化したことで知られています。これは、19世紀的な自由主義憲法から、現代的な福祉国家の考え方への大きな転換点となりました。
問3	答え 1 ワシントン会議などの開催を通じて、軍縮を進めて平和を維持しようとする国際協調の動きが強まったため	第一次世界大戦が終結すると、二度とこのような大戦を起こさないという反省から、国際連盟の発足やワシントン会議での海軍軍備制限などが行われました。これを「国際協調」と呼びます。日本もこの流れに応じ、加藤友三郎内閣などが軍縮を推進した結果、国家予算における軍事費の割合が一時的に低下しました。なお、世界恐慌の発生は1929年であり、この資料の期間より後の出来事です。
問4	答え 1 治安維持法	普通選挙の実施により有権者が拡大することで、無産政党（労働者や農民を支持基盤とする政党）が議会に進出し、社会の仕組みを根本から変えようとする動きが出ることを政府は警戒しました。そのため、私有財産制度を否定する思想などを厳しく規制する目的で、普通選挙法とほぼ同時にこの法律が制定されました。
問5	答え 1 中国における日本の勢力を拡大すること	二十一カ条の要求は、ドイツが中国に持っていた権益を日本が引き継ぐことや、南満州での権益を強固にすることを主な内容としていました。これは、第一次世界大戦という国際的な混乱に乗じて、日本が大陸における政治的・経済的な影響力を一気に強めることを狙ったものでした。
問6	答え 3 米騒動	シベリア出兵という軍事行動に際し、軍用米の需要が高まると予想した商人たちが売り惜しみや買い占めを行ったことが直接の原因です。この騒動は全国に波及し、当時の寺内正毅内閣が退陣に追い込まれるなど、日本の政治や社会に大きな影響を与えました。
問7	答え 1 原敬	富山県で発生し全国へ広がった米騒動により、当時の寺内正毅内閣が退陣に追い込まれました。その後、衆議院で最も多い議席を持つ政党のトップが首相となる慣例の先駆けとして、爵位を持たない原敬が内閣を組織しました。これは、陸相・海相・外相以外の全閣僚を自党の議員で固めた、日本で最初の本格的な政党内閣でした。
問8	答え 1 1913年には輸入額が輸出額を上回る輸入超過であったが、1916年には輸出額が10億円を超えて輸入額を上回るようになった。	第一次世界大戦前、日本は慢性的な輸入超過の状態にありましたが、大戦が始まると輸出額が飛躍的に増加しました。統計によれば、1916年には輸出額が輸入額を大きく上回り、10億円を突破する規模にまで成長しました。この好景気（大戦景気）により、日本は債務国から債権国へと転換し、経済的な地位を向上させました。